

## 今冬のインフルエンザ対策について

平成22年8月27日付、厚生労働省は、『新型インフルエンザ(A/H1N1)に対する厚生労働省の取り組みについて』を公表しました。以下、引用します。

### 新型インフルエンザ(A/H1N1)に対する厚生労働省の取り組みについて

厚生労働省においては、昨年4月に新型インフルエンザ(A/H1N1)が海外で発生して以降、死亡者や重症者の数を最小限にすることを最大の目標として掲げ、その対策に全力で取り組んできた。

本年8月、世界保健機構(WHO)は、今回の新型インフルエンザ(A/H1N1)の流行状況の段階について「ポストパンデミック」とする旨を声明し、今回の新型インフルエンザは季節性インフルエンザと同様の動向となりつつあるとした。

同時に、警戒の継続が極めて重要であるとして、ポストパンデミック期において、サーベイランスやワクチン接種、医療提供に努めることを勧告した。

厚生労働省としては、WHOの勧告の主旨や、国内での今年度(2010/2011 シーズン)における再流行の可能性は続いていること、ウイルスによる重症化等のリスクが変わるものではないこと等を踏まえ、引き続き、国内における再流行への警戒を怠らず、まん延予防等に万全を期するものとする。

厚生労働省では、引き続き、医療体制の構築や、感染予防の呼びかけ等に務めるとともに、新型インフルエンザ(A/H1N1)に係るワクチン接種事業を今年度は引き続き応急的に行うこととする。

また、ウイルス動向や流行予測等のサーベイランスや必要な調査等も継続して行い、その状況を踏まえた上で、季節性と異なる大きな流行等の特別の事情が生じない場合は、今年度末を目途に、通常季節性インフルエンザ対策に移行することとする。

また、今回の新型インフルエンザ(A/H1N1)への対応については、必要に応じ見直しを行っていくものとする。

本学における平成22年度新型インフルエンザ(A/H1N1)に対する対応は、厚生労働省の取り組みを踏まえ、引き続き、再流行の端緒を早期に把握するため、インフルエンザ感染の発生状況把握を行います。以下の具体的対策を参考にご協力をお願いします。

## 【注意喚起】

今冬は、季節性インフルエンザ、新型インフルエンザ  
のいずれも流行の可能性があります！！

まずは感染予防、  
かかってしまった場合は感染拡大予防、  
集団感染防止を念頭に行動しましょう。

学生の皆さん、今冬も引き続き注意し、インフルエンザ対策に努めてください。

今年は、季節性インフルエンザ、新型インフルエンザ(A/H1N1)のいずれも流行の可能性があります。今年は、全ての年齢の方がインフルエンザに注意する必要があります。

知っていますか インフルエンザのこと  
— インフルエンザは かぜとは違います —

☆ インフルエンザと診断されたら、保健センター等の窓口にご連絡してください。

○柏原キャンパス	保健センター 072-978-3811
	学生サービス課保健・学生寄宿舍係 072-978-3312
○天王寺キャンパス	天王寺地区管理課学務係 06-6775-6677
○留学生	学術部学術連携課国際係 072-978-3300

インフルエンザと診断されたら、『**出席停止**』です。

学校保健安全法に基づき、解熱後2日を経過するまで自宅療養すること。

- ☆ 届出があったことの証明は、治癒後に保健センターで発行することができます。
- ☆ 37℃以上の発熱・のど痛・咳・頭痛・鼻水・だるさ・関節痛などの症状がある時は、登校せず、自宅療養、医療機関受診をしてください。
- ☆ クラブ・サークル所属の学生は、感染拡大防止のため、速やかにメンバーに連絡し、保健センター・課外活動係へ状況を報告してください。
- ☆ 教育実習・介護等体験実習など実習中、または参加予定の学生は、保健センター・教務課免許実習係へ状況を報告してください。

## ！インフルエンザの典型的な症状は？

高熱（38℃以上）・くしゃみ・鼻水・せき・のどの痛み・  
筋肉痛・頭痛などの症状が急激に出現。

### ※ インフルエンザでも症状が軽い場合もあります

熱は体がウイルスと戦っている証拠。急激に下げるとかえって  
良くないこともあります。

解熱剤の使用は予め医師に相談してからにしましょう。

咳やくしゃみ、下痢は快方に向かいつつ1週間程度続くことも。



### 飲んですぐには治りません

タミフル／リレンザは、体の中でのウイルスの増殖を阻害する薬。  
熱が出ている期間が短縮するなどの効果があります。



### 検査は100%ではありません

インフルエンザの検査をしても、発病後1～2日は陽性と出ない場合があります。

### 自宅で過ごすためのポイント

- 自宅で安静に休養（1日3回【朝・昼・夕】検温しましょう）
- 十分な水分補給を（スポーツ飲料水の補給が効果的）
- 出された薬は、時間（回数）、量、期間を守って最後まで飲む（吸入する）
- 手をこまめに洗いましょう。
- マスクを着用しましょう。
- 可能なら家族と別の部屋で過ごしましょう。

### こんな時は再受診を！！

- 症状改善後の再発熱や咳の悪化
- 息がしにくい、息切れがある
- おう吐や下痢が続いて、水分がとれない状態が続く
- 胸部や腹部の痛みや圧迫感が続く
- 突然のめまい、反応が鈍い

